

# プログラム

4月24日(土) 1日目：第1会場（上條講堂）

## 特別講演

(14:00～14:50)

座長：聖マリアンナ医科大学病院薬剤部 増原 慶壮

### 我が国の医療政策の動向と課題

九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座教授

○尾形 裕也

## 基調講演

(13:00～13:50)

座長：昭和大学薬学部長・臨床薬学教室 山元 俊憲

### 我が国における薬物治療を考える

明治薬科大学名誉教授

○緒方 宏泰

4月25日(日) 2日目：第1会場（上條講堂）

## 教育講演

(9:40～10:40)

座長：熊本大学薬学部医療薬剤学分野 丸山 徹

### プライマリーケアにおける薬物治療の課題と将来展望

昭和大学薬学部 薬学教育推進センター センター長、教授

○木内 祐二

4月24日(土) 1日目：第1会場（上條講堂）

## シンポジウム1

(15:00～18:00)

「パンドラの箱を開けよう」－我が国の薬物治療の諸問題と将来に向けた提言－

座長：明治薬科大学

日本大学医学部内科学系腎臓高血圧内分泌内科学分野

緒方 宏泰

上野 高浩

S1-1 パンドラの箱を開けよう

－我が国の薬物治療の諸問題と将来に向けた提言－

亀田総合病院

○佐々木忠徳

- S1-2 薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダードとは  
富士見台調剤薬局  
○上村 直樹
- S1-3 内科臨床医の立場からみた薬物治療の課題と提案  
榊原記念病院 / 榊原記念クリニック  
○住吉 徹哉
- S1-4 小児科領域の薬物治療は科学的で合理的なエビデンスに基づいているか？  
—その現状とこれからのあり方—  
崎山小児科  
○崎山 弘
- S1-5 医療経済、なかでも第三者認証と薬剤師  
多摩大学  
○真野 俊樹
- S1-6 我が国の薬物治療の諸問題と将来に向けた提言  
厚生労働省 保険局 医療課  
○磯部 総一郎

4月25日(日) 2日目：第1会場（上條講堂）

## シンポジウム2

(14:00～17:00)

「高血圧治療における配合剤戦略を検証する」

座長：聖マリアンナ医科大学病院薬剤部 増原 慶壮  
東京女子医科大学病院治験管理室 長沼美代子

- S2-1 プレミネント配合錠が日本の高血圧治療に果たす役割  
万有製薬株式会社 メディカル情報統括室学術グループ  
○森野由美子
- S2-2 高血圧治療における配合剤戦略を検証する  
武田薬品工業株式会社  
○丸本 光洋、穴井 貴宏
- S2-3 バルサルタンをベースとした配合剤の役割  
ノバルティスファーマ株式会社 コディオ・エックスフォージマーケティンググループ  
○岡田 成生
- S2-4 ミコンビ® 配合錠 AP、BP について  
日本バーリンガーインゲルハイム株式会社  
○岡田 裕、富山 裕美

S2-5 高血圧治療における配合剤戦略を検証する

第一三共株式会社

○中郡比呂志

4月25日(日) 2日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

シンポジウム3

(14:00～17:00)

「小児における適応拡大への方向性」

座長：日本医科大学多摩永山病院小児科  
日本大学薬学部臨床薬物動態学ユニット

川上 康彦  
松本 宜明

S3-1 小児における医薬品開発

日本大学薬学部臨床薬物動態学

○松本 宜明

S3-2 薬局における適応拡大の対応

八千代市薬剤センター

○小川 敦

S3-3 小児科病棟における薬剤管理指導業務

昭和大学病院薬剤部

○若林 仁美

S3-4 小児における適応拡大に向けて

－薬剤師による研究活動－

国立成育医療センター

○石川 洋一

S3-5 小児における適応拡大の方向性

－医師の立場から－

日本医科大学多摩永山病院小児科

○川上 康彦

4月25日(日) 2日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

シンポジウム4

(14:00～17:00)

「OTC 医薬品の使用環境と問題点～安心・安全な使用のために～」

座長：昭和大学薬学部社会薬学教室  
CJC ファーマ株式会社

亀井美和子  
陳 恵一

S4-1 Taking responsibility for the use of OTC drugs

東和薬局

○武政 文彦

S4-2 WEB 情報からみた、OTC 薬の安全性と取り組まれるべき課題

コジマ薬局 / アポネット R 研究会

○小嶋 慎二

S4-3 「OTC 医薬品の使用環境と問題点」

～安心・安全な使用のために～

昭和大学薬学部

○佐々木圭子

S4-4 OTC 医薬品の安心・安全な使用に向けて

日本 OTC 医薬品協会

○西沢 元仁

4月24日(土) 1日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

プレシンポジウム 1

(10:00～11:30)

「薬学の薬物治療教育プログラム創成を目指す：欧米の薬物治療教育に学ぶ」

座長：明治薬科大学薬物治療学教室  
摂南大学薬学部

越前 宏俊  
前田 定秋

PS1-1 イギリスにおける病棟薬剤師業務の評価 Accompanied ward visit

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部

○上田 彩

PS1-2 キーワードは Practice 米国イリノイ大学の薬剤師教育

東京女子医科大学先端生命医科学研究所先端工学外科分野

○生田 聡子

PS1-3 カナダの薬学教育から学ぶ教育のあるべき姿と進むべき方向性

ウエルシア関東株式会社

○五味さやか

4月24日(土) 1日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

プレシンポジウム 2

(10:00～11:30)

「これからの糖尿病治療と薬剤師の役割」

座長：熊本大学薬学部医療薬剤学分野

丸山 徹

PS2-1 新しい糖尿病治療薬（インクレチン製剤）と糖尿病療養指導士・保険薬局薬剤師の役割

新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室

○朝倉 俊成

PS2-2 糖尿病地域連携パスによる保険薬局の役割

フローラ薬局 / 東京薬科大学

○篠原久仁子

4月25日(日) 2日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

モーニングレクチャー1

(8:30~9:30)

座長：北里大学東病院 熊谷 雄治

ML-1 CKD（慢性腎臓病）の薬物療法

熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野

○平田 純生

4月25日(日) 2日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

モーニングレクチャー2

(8:30~9:30)

座長：金城学院大学薬学部医療薬学 網岡 克雄

ML-2 臨床研究文献の読み方

明治薬科大学薬物治療学教室

○越前 宏俊

4月25日(日) 2日目：第4会場（4号館教室 3F 301号）

モーニングレクチャー3

(8:30~9:30)

座長：北海道薬科大学 早川 達

ML-3 イギリスの医薬品情報提供のしくみ

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部

○上田 彩

4月24日(土) 1日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

**ランチョンセミナー1**

(11:40~12:40)

座長：明治薬科大学薬物治療学教室 越前 宏俊

- LS-1 感染症における標準薬物療法  
—抗菌薬の適正使用—  
昭和大学医学部臨床感染症学講座  
○二木 芳人

共催：田辺製薬販売株式会社

4月24日(土) 1日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

**ランチョンセミナー2**

(11:40~12:40)

座長：国立病院機構京都医療センター 長谷川建次

- LS-2 がん疼痛緩和における標準薬物治療  
横浜市立市民病院緩和ケア内科  
○国兼 浩嗣

共催：塩野義製薬株式会社

4月25日(日) 2日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

**ランチョンセミナー3**

(12:10~13:10)

座長：IHI 播磨病院薬剤科 西田 英之

- LS-3 これからの糖尿病治療を考える  
—インクレチン時代の幕開け—  
東海大学医学部内科学系腎・内分泌代謝内科  
○鈴木 大輔

共催：万有製薬株式会社

4月25日(日) 2日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

ランチョンセミナー4

(12:10~13:10)

座長：愛知医科大学病院 斎藤 寛子

LS-4 固形がんの標準薬物治療

独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院腫瘍内科

○有岡 仁

共催：日本化薬株式会社

4月25日(日) 2日目：第4会場（4号館教室 3F 301号）

ランチョンセミナー5

(12:10~13:10)

座長：自治医科大学附属さいたま医療センター 堀口 久光

LS-5 関節リウマチの病態と薬物療法 生物学的 DMARD 使用時のリスク管理

川崎市立川崎病院総合診療科

○鈴木 貴博

共催：中外製薬株式会社

4月25日(日) 2日目：第2会場（4号館教室 6F 600号）

一般演題1 がん関連

(10:50~11:50)

座長：神戸市立医療センター中央市民病院 橋田 亨

千葉大学薬学部実務薬学研究室 関根 祐子

1-1 非小細胞肺癌患者におけるゲフィチニブの抗腫瘍効果に制酸薬が与える影響

明治薬科大学 臨床薬学専攻大学院<sup>1)</sup>、明治薬科大学 薬効学教室<sup>2)</sup>、

東京女子医科大学病院 薬剤部<sup>3)</sup>

○田中 康平<sup>1)</sup>、菱沼 滋<sup>2)</sup>、三田 充男<sup>2)</sup>、庄司 優<sup>2)</sup>、深谷 寛<sup>3)</sup>、佐川 賢一<sup>3)</sup>

1-2 非小細胞肺癌治療における G-CSF の使用実態と薬剤師介入による適正使用推進効果

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部<sup>1)</sup>、明治薬科大学大学院臨床薬学専攻<sup>2)</sup>

○篠田 紘子<sup>1)</sup>、荘司 希奈<sup>2)</sup>、長田貴美子<sup>1)</sup>、伊藤 由香<sup>1)</sup>、横山美恵子<sup>1)</sup>、増原 慶壮<sup>1)</sup>

1-3 一次療法 (mFOLFOX6 + bevacizumab) により35ヶ月生存中の転移性直腸癌を伴った透析患者の1例

－Oxaliplatin の薬物動態変動と安全性－

JA 三重厚生連いなべ総合病院 薬剤部<sup>1)</sup>、JA 愛知厚生連知多厚生病院 外科<sup>2)</sup>、

JA 三重厚生連いなべ総合病院 外科<sup>3)</sup>

○藤田 征志<sup>1)</sup>、伊藤 広樹<sup>1)</sup>、山岸 庸太<sup>2)</sup>、中村 善則<sup>3)</sup>、片岡 康<sup>1)</sup>

- 1-4 進行性大腸癌に対するベバシズマブを含む化学療法による高血圧発現に関係する患者因子の検討  
明治薬科大学臨床大学院<sup>1)</sup>、埼玉社会保険病院薬剤部<sup>2)</sup>、明治薬科大学薬物治療学<sup>3)</sup>  
○山崎由美子<sup>1)</sup>、臺 裕子<sup>2)</sup>、石井 陽司<sup>2)</sup>、小川 竜一<sup>3)</sup>、越前 宏俊<sup>3)</sup>
- 1-5 イリノテカン塩酸塩誘発性の重症下痢の発症に関係する患者因子の検討  
明治薬科大学臨床大学院<sup>1)</sup>、埼玉社会保険病院薬剤部<sup>2)</sup>、明治薬科大学薬物治療学<sup>3)</sup>  
○牧野 友理<sup>1)</sup>、臺 裕子<sup>2)</sup>、石井 陽司<sup>2)</sup>、小川 竜一<sup>3)</sup>、越前 宏俊<sup>3)</sup>

4月25日(日) 2日目：第3会場（4号館教室 5F 500号）

一般演題2 TDM 他

(10:50~11:50)

座長：新潟薬科大学薬学部薬物動態学研究室 上野 和行  
東邦大学薬学部医療薬学教育センター 大林 雅彦

- 2-1 造血幹移植患者におけるシクロスポリン血中濃度に影響する併用薬剤の探索  
金沢大学医薬保健研究域薬学系  
○荒井 國三、増田 理央、菅 幸生
- 2-2 薬物血中濃度モニタリング(TDM)と ECG monitor を利用した Digoxin 投与の管理 - 1例報告 -  
医療法人すこやか 高田中央病院 薬剤科<sup>1)</sup>、循環器内科<sup>2)</sup>  
○坂下 将仁<sup>1)</sup>、高塚 久史<sup>2)</sup>
- 2-3 便秘治療における薬剤耐性抑制のための治療選択と医療費削減  
医療法人 前橋北病院 薬局  
○山岡 和幸
- 2-4 二次性副甲状腺機能亢進症に対するシナカルセトの抗酸化作用  
熊本大院・薬<sup>1)</sup>、熊本大・薬・育薬フロンティアセンター<sup>2)</sup>、  
松下会あけぼのクリニック腎臓内科<sup>3)</sup>、東海大・医<sup>4)</sup>、崇城大・薬<sup>5)</sup>  
○丸山 徹<sup>1,2)</sup>、徳永 晃己<sup>1)</sup>、米良 克美<sup>1)</sup>、渡邊 博志<sup>1,2)</sup>、田中 元子<sup>3)</sup>、深川 雅史<sup>4)</sup>、  
小田切優樹<sup>1,5)</sup>
- 2-5 各病態における総エネルギー量の内訳と栄養状態改善の関係  
いわき明星大学<sup>1)</sup>、順天堂医院 NST<sup>2)</sup>  
○富岡 節子<sup>1,2)</sup>、永田 智<sup>2)</sup>、佐藤 奈緒<sup>2)</sup>、中村 智美<sup>2)</sup>、大下 正晃<sup>2)</sup>、東海林宏道<sup>2)</sup>、  
清水 俊明<sup>2)</sup>



4月25日(日) 2日目：第4会場（4号館教室 3F 301号）

一般演題3 因子解析等

(10:50~11:50)

座長：武蔵野大学臨床薬学センター

三原 潔

金沢大学医薬保険研究域薬学系国際保健薬学

赤沢 学

- 3-1 高齢者に対する HMG-CoA 還元酵素阻害薬の治療とがんリスクに関する検討：メタアナリシス  
明治薬科大学 臨床薬学専攻大学院<sup>1)</sup>、明治薬科大学 臨床薬理学教室<sup>2)</sup>、  
国立国際医療センター戸山病院 薬剤部<sup>3)</sup>  
○赤沢 翼<sup>1)</sup>、野澤（石井）玲子<sup>2)</sup>、三上 二郎<sup>3)</sup>、竹内 幸一<sup>2)</sup>
- 3-2 喘息患者のアドヒアランスに与える ACT(Asthma Control Test)を用いた服薬指導の影響  
日本調剤(株)教育情報部<sup>1)</sup>、日本調剤大森薬局<sup>2)</sup>、日本調剤旗の台薬局<sup>3)</sup>、  
日本調剤川崎中央薬局<sup>4)</sup>  
○福岡 勝志<sup>1)</sup>、佐々木智美<sup>1)</sup>、武田 泰昭<sup>1)</sup>、小西 徹<sup>2)</sup>、松澤 仁美<sup>2)</sup>、田沼 智明<sup>3)</sup>、  
坂口 治巳<sup>3)</sup>、高橋 大輔<sup>4)</sup>、佐々木伸彦<sup>4)</sup>
- 3-3 冠動脈疾患に対し経皮的インターベンション(PCI)を受けた日本人患者の術後複合イベント  
に関する患者因子に関する検討  
明治薬科大学臨床大学院<sup>1)</sup>、関東労災病院薬剤部<sup>2)</sup>、関東労災病院循環器科<sup>3)</sup>、  
明治薬科大学薬物治療学教室<sup>4)</sup>  
○大江麻里子<sup>1)</sup>、長島 章<sup>2)</sup>、三村 進<sup>2)</sup>、並木 淳郎<sup>3)</sup>、柴田 正行<sup>3)</sup>、小川 竜一<sup>4)</sup>、  
越前 宏俊<sup>4)</sup>
- 3-4 慢性心不全における薬物治療の検討  
-SOAP 形式にて有効性・安全性を検討した1症例-  
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院薬剤科  
○坪田 吉宏

4月25日(日) 2日目：第5会場（4号館教室 3F 302号）

一般演題4 OTC、保険薬局等

(10:50~11:50)

座長：(株)アインメディカルシステムズ

川瀬 祐子

(有)くろしお薬局

川添 哲嗣

- 4-1 OTC 医薬品の有効性および安全性の科学的根拠に関する研究  
草加市立病院<sup>1)</sup>、明治薬科大学<sup>2)</sup>  
○高橋 雅弘<sup>1,2)</sup>、緒方 宏泰<sup>2)</sup>
- 4-2 米国 OTC 医薬品との比較による、本邦の OTC 医薬品の現状と問題点に関する検討  
聖路加国際病院薬剤部<sup>1)</sup>、草加市立病院薬剤部<sup>2)</sup>、明治薬科大学<sup>3)</sup>  
○津田 泰正<sup>1)</sup>、高橋 雅弘<sup>2)</sup>、源川 良一<sup>2)</sup>、緒方 宏泰<sup>3)</sup>

4-3 **保険薬局における安全性に関わる疑義照会の分析**

日本調剤株式会社 教育情報部

○弓削 吏司、福岡 勝志

4-4 **地域薬局における後発医薬品使用促進に関する検討**

明治薬科大学臨床薬学専攻大学院<sup>1)</sup>、明治薬科大学臨床薬学教室<sup>2)</sup>

○大久保 彰<sup>1)</sup>、野澤（石井）玲子<sup>2)</sup>、竹内 幸一<sup>2)</sup>

4-5 **適正な薬物治療における薬薬連携の有用性と課題**

日本調剤株式会社 教育情報部<sup>1)</sup>、日本調剤塩釜薬局<sup>2)</sup>

○沼尾 美保<sup>1)</sup>、成瀬 聡<sup>2)</sup>、茂泉 潤一<sup>2)</sup>、梅津 亜希<sup>2)</sup>、石橋 美幸<sup>2)</sup>、原井香菜子<sup>2)</sup>、  
福岡 勝志<sup>1)</sup>